

平成30年度

鳥取大学大学院医学系研究科

保健学専攻

博士前期課程学生募集要項

(社会人入学のための昼夜開講制実施)

鳥 取 大 学

鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程教育に関する三つの基本方針

I. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

保健学専攻博士前期課程では、医学系研究科における学修と経験を通じて以下の場合に、修士（保健学）の学位を授与します。

- 1 所定の期間在学し、所定の単位を修得し、修士論文の審査および最終試験に合格すること。
- 2 保健学・保健医療の分野における教育・研究を担うための能力を身につけること。
- 3 保健学・保健医療の分野に携わるものとして、高い倫理観と責任感を備えていること。
- 4 高度な医療技術を持つ専門職業人として、保健医療の現場で中心的役割を担う優れた能力を身につけること。

II. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

保健学専攻博士前期課程では、学位授与の方針で示す能力を身につけることができ、さらに、知と実践を融合すべく、以下に掲げる目標のもとに体系的な教育課程の編成と研究指導を実施します。

- 1 教育・研究に必須な倫理観の涵養と保健学の基盤となる知識の習得。
- 2 看護学、医用検査学の双方に関連し、保健医療に必要とされる専門職業人のための高度な技術力や実践力の養成。
- 3 保健・看護学と医用検査学の諸問題について、教育・研究を担うための能力の育成。

III. アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）

- 1 保健学専攻博士前期課程では、次のような入学者を求めています。

- (1) 研究課題を解決するために必要な基礎学力を備えている人
- (2) 保健医療の分野において、自ら課題を発見し、解決しようとする意欲をもっている人
- (3) 専門職業人として、教育課程での学びを活かし、保健医療の現場で中心的役割を担いたいという積極的な意欲をもっている人

- 2 こうした入学者を受け入れるために、多様な入試方法によりその適性を確認します。

目 次

募 集 要 項

I. 専攻及び募集定員	1
II. 出 願 資 格	1
III. 出願資格の認定	2
IV. 出 願 手 続	2
V. 入 試 方 法	4
VI. 合 格 発 表	4
VII. 入 学 手 続	5
VIII. そ の 他	5

入 学 案 内

I. 目 的	7
II. 修業年限と入学定員	7
III. 授業科目	7
IV. 専任指導教員	8
V. 履修方法、修了要件及び学位授与	8
VI. 専門メディカルスタッフ養成コースについて	9
VII. がん看護専門看護師コースについて	10
VIII. 社会人受入のための昼夜開講制	10
IX. 長期履修制度について	10
X. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について	11
XI. 入学料及び授業料の奨学融資制度について	11
XII. 奨学金制度について	11

米子地区案内図	12
---------	----

平成30年度鳥取大学大学院医学系研究科

保健学専攻博士前期課程学生募集要項

I. 専攻及び募集定員

専攻	分野	部門名	募集定員
保健学	看護学 医用検査学	保健・看護学 医用検査学	14人 (社会人若干名、専門メディカルスタッフ養成コース若干名及びがん看護専門看護師コース約2人を含む。)

出願を希望する者は、出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。教授等の連絡先がわからない場合、研究領域や研究指導者について相談したい場合は、事前に医学部学務課教育企画係にメールで照会してください。

教育企画係メールアドレス：me-gakumusou@ml.adm.tottori-u.ac.jp

II. 出願資格（4年制大学卒業者（学士）でない方にも資格があります。）

次の各号のいずれかに該当する者及び平成30年3月31日までにいずれかに該当する見込みの者

1. 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者
2. 学校教育法第104条第4項の規定により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6. 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
9. 平成30年3月31日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得した者と本研究科で認めた者
10. 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者

大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者とは、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校及びその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者で、次の(1)を満たし、かつ(2)から(5)までの審査基準のうちから2つの基準を満たす者とする。

- (1) 看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、衛生検査技師等のいずれかの資格を有する者

- (2) 看護師、保健師、助産師、臨床検査技師、衛生検査技師等として実務経験3年以上を有する者
- (3) 業績（学術雑誌等への掲載、あるいは学会等における発表の経験）を有する者
- (4) 英語のレベルが実用英語技能検定2級、TOEFL PBT 460点、TOEFL CBT 140点、TOEIC 470点以上の実力を有する者
- (5) 認定看護師、細胞検査士等の資格を有する者

11. 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

注：出願資格3、4、6、8、9、10、11のいずれかにより出願を希望する者は「Ⅲ. 出願資格の認定」をお読みください。

専門メディカルスタッフ養成コース

※ 超音波検査士コース

本コースを志望する者は上記の他、臨床検査技師、看護師、准看護師、診療放射線技師のいずれかの資格を有するか、平成30年4月までに資格取得見込みであること。

※ 細胞検査士コース

本コースを志望する者は上記の他、臨床検査技師あるいは衛生検査技師の資格を有するか、平成30年4月までに資格取得見込みであること。

※ 認知症予防専門士コース

本コースを志望する者は上記の他、認知症予防関連施設等における実務経験を有する者であること。

※ 認定認知症領域検査技師コース

本コースを志望する者は上記の他、臨床検査技師の資格を有するか平成30年4月までに資格取得見込みであること。

なお、いずれのコースも、上記の資格取得見込みの者が資格取得できなかった場合、通常の博士前期課程保健学専攻所定の授業科目を履修することができる。

がん看護専門看護師コース

※ 本コースを志望する者は上記の他、通算5年以上の看護実務経験を有し、そのうち3年以上はがん看護を専門とする分野の実務経験であること。

Ⅲ. 出願資格の認定

Ⅱ. 出願資格の3、4、6、8、9、10、11のいずれかにより出願を希望する者は、下記期間に鳥取大学医学部学務課教育企画係へ「出願資格認定申請書（様式A）」、「履歴書（様式B）」、「資格確認書（様式C 出願資格10の該当者のみ）」及びそれぞれの「証明できる書類」、「返信用封筒（定形型封筒（長形3号）に郵便切手362円分（速達料を含む）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。）」を提出してください。

第1回 平成29年 6月 5日（月）から 6月 9日（金）まで（必着）

第2回 平成29年 9月25日（月）から 9月29日（金）まで（必着）

審査の結果は、第1回は平成29年6月27日（火）、第2回は平成29年10月27日（金）までに本人あてに通知書を送付します。

Ⅳ. 出願手続

1. 出願期間

第1回 平成29年 7月 6日（木）から 7月13日（木）まで（必着）

第2回 平成29年11月 9日（木）から 11月15日（水）まで（必着）

受付時間は、平日の9時から17時まで

2. 出願書類提出先

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

3. 出願方法

入学志願者は次の出願書類等を取り揃えて、鳥取大学医学部学務課教育企画係へ提出してください。郵送の場合は「速達・書留」とし、封筒（角型2号）の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。出願書類等に不備のある場合は受け付けないことがあるので、十分留意してください。

4. 出願書類等

出願書類等	摘 要
(1) 志 願 票	本研究科所定の志願票に所要事項を記入の上、提出してください。
(2) 写真票・受験票	所要事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm、上半身・無帽・正面向きで、出願前3か月以内に撮影したもの。）を貼って提出してください。
(3) 成績証明書	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したものを提出してください。 (学部の成績証明書)
(4) 卒業(見込)証明書 学位授与・修了 (見込)証明書	1 通（ただし、出願資格の認定を受けた者では不要です。）
(5) 資格証明書・実務経験(見込)証明書	専門メディカルスタッフ養成コースを希望する者は、臨床検査技師、看護師、准看護師、診療放射線技師などの免許の写しを提出してください。がん看護専門看護師コースを希望する者は、看護師免許の写しとがん看護実務確認書を提出してください。（ただし、出願資格の認定を受けた者では、免許の写しの再提出は不要です。）
(6) 検 定 料	検定料 30,000円 本学所定の振込用紙を使用して、最寄りの銀行窓口（郵便局、ゆうちょ銀行を除く。ATMは利用しないでください。）から振り込みの上、「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付台紙」の所定の位置に貼り付けてください。 また、手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。 検定料振込期間 第1回 平成29年 7月 4日（火）から 7月13日（木）まで 第2回 平成29年11月 7日（火）から11月15日（水）まで なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 a. 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合 b. 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 c. 検定料を誤って二重に振り込んだ場合 上記a～cに該当する場合は、必ず医学部学務課教育企画係（TEL(0859)38-7106）へ連絡してください。（返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。） ただし、外国人志願者のうち、日本政府（文部科学省）国費留学生は検定料の支払いは不要です。
(7) 受験承認書	現在、官公庁、学校、会社、病院等に在職している者は、当該所属長の受験承認書（様式1）を提出してください。 なお、退職して入学する予定の者は本人がその旨を記載した文書（署名、押印）をもって受験承認書に代えることができます。

(8) 宛 名 票	本研究科所定の宛名票（様式2）に所要事項を記入の上、提出してください。
(9) 住 民 票 等 (外国人のみ)	日本に在住する外国人は、市区町村長発行の住民票又は在留カードの写し（両面）等、在留資格が記載されたものを、前述のものを提出することができない外国人はパスポートの写しを提出してください。
(10) 返 信 用 封 筒 (受験票送付用)	定形型封筒(長形3号)に郵便切手362円分（速達料を含む。）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記の上、提出してください。

(注) 1. 本学医学部卒業（見込）者及び医療技術短期大学部卒業者は、上記の(3)、(4)の出願書類は不要です。

2. (7)について、本学医学部または附属病院に勤務する者は、本学医学部総務課人事係へ申請してください。

※受験票は、第1回については7月14日（金）頃、第2回については11月16日（木）頃速達郵便で発送します。

なお、受験票が、第1回については7月19日（水）、第2回については11月21日（火）を過ぎても到着しない場合は、医学部学務課教育企画係(TEL (0859)38-7106)へお問い合わせください。

V. 入試方法

試験の成績、成績証明書等を総合して判定します。

なお試験日時、試験科目等は以下のとおりです。

第1回 平成29年 8月 3日（木）

第2回 平成29年12月 2日（土）

時 間	試 験 内 容		試 験 場
9:00 ~ 9:50	外国語（英語）	筆記試験	鳥 取 大 学 医 学 部
10:20 ~ 11:30	小論文	筆記試験	
12:30 ~	面 接（志望分野に関連する口述試験を含む。） （外国人の場合においては、英語による面接を行う。）		

(1) 試験室等詳細については、受験票送付時にお知らせします。

(2) 外国語の試験については、辞書（和英、英和及び英英辞典のみ。）の持ち込みを許可します。（ただし、電子辞書は除く。）

(3) 試験当日は8時40分までに試験室に入室してください。

VI. 合格発表

第1回 平成29年 8月25日（金）

第2回 平成30年 1月 9日（火）

鳥取大学医学部ホームページに合格者の受験番号を午前11時頃に掲載するとともに、本人あてに合格通知書のほか入学手続に必要な書類を送付します。（不合格者には通知しません。）

鳥取大学医学部ホームページURL: <http://www.med.tottori-u.ac.jp/exam/>

なお、電話による合否の照会には応じません。

ただし、出願資格9に該当する志願者について、在学中の成績が所定の要件を満たさない場合は、合格を取り消します。

また、成績確認に必要な書類等は、平成30年2月23日（金）まで（必着）に提出してください。

Ⅶ. 入学手続

平成30年2月13日(火)から平成30年2月28日(水)まで(必着)

受付時間は、平日の9時から17時まで

入学手続は、必要書類を取り揃えて入学手続期限までに必着となるよう「速達・書留」で郵送するか、直接持参し、完了してください。

なお、入学を辞退する場合は、医学部学務課教育企画係(TEL(0859)38-7106)へ連絡してください。

1. 手続書類等

(1) 受験票

(2) 入学料 282,000円(予定額)

- ① 合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期間中にお振り込みください。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。
- ② 振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ③ 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 入学料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に入学料を納入しないでください。

(3) 授業料について

授業料 半期分 267,900円(予定額) [年額 535,800円(予定額)]

- ① 納入時期は、前期は5月、後期は11月です。ただし、日本政府(文部科学省)国費留学生は不要です。
- ② 本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
- ③ 口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- ④ 授業料の納入については、希望により前期分の納入時に後期分も併せて納入することができます。
- ⑤ 前期分授業料納入の際に、後期分授業料も併せて納入した者が平成30年9月30日までに休学又は退学した場合には、納入した者の申し出により後期分の授業料相当額を返還します。
- ⑥ 授業料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は、入学手続時に授業料を納入しないでください。

* 入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのでご了承ください。

2. 入学手続場所

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部学務課教育企画係 TEL (0859)38-7106

Ⅷ. その他

1. 出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。
2. 提出書類の記載と相違する事実が判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
3. 身体に障がいのある方で受験の際に配慮を必要とする者は、出願の前に申し出てください。
4. 入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務(入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。)及び入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請等)、授業料等に関する業務を行うために利用するとともに管理します。他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は行いません。

* 出願から合格発表までの流れ

第 1 回

	右記以外 の者	出願資格 3、4、6、8、9、10、11 のいずれか により出願を希望する者
出願資格認定の提出	不 要	平成 29 年 6 月 5 日 (月) ~ 9 日 (金)
出願資格認定結果の連絡	不 要	平成 29 年 6 月 27 日 (火) までに通知
出願手続	平成 29 年 7 月 6 日 (木) ~ 13 日 (木)	
入学試験	平成 29 年 8 月 3 日 (木)	
合格発表	平成 29 年 8 月 25 日 (金)	

第 2 回

	右記以外 の者	出願資格 3、4、6、8、9、10、11 のいずれか により出願を希望する者
出願資格認定の提出	不 要	平成 29 年 9 月 25 日 (月) ~ 9 月 29 日 (金)
出願資格認定結果の連絡	不 要	平成 29 年 10 月 27 日 (金) までに通知
出願手続	平成 29 年 11 月 9 日 (木) ~ 11 月 15 日 (水)	
入学試験	平成 29 年 12 月 2 日 (土)	
合格発表	平成 30 年 1 月 9 日 (火)	

鳥 取 大 学 大 学 院 医 学 系 研 究 科 保 健 学 専 攻 博 士 前 期 課 程 入 学 案 内

I. 目的

少子高齢化社会や高度化する医療システムに由来する時代のニーズを理解して、それに対応することのできる以下に掲げる医療人の育成を目指す。

- (1) 地域に根ざし、地域に貢献できる医療人
- (2) 医療の諸問題の解決に向けて、自ら研究することのできる人材
- (3) 高度な医療技術を持つ専門職業人としての医療現場のリーダー
- (4) 保健学の教育・研究者へ進むための基礎力を持つ人材

II. 修業年限と入学定員

博士前期課程 標準修業年限 2年 入学定員 14人

III. 授業科目

1. 科目の種類

博士前期課程の授業科目は、特論2単位（1単位15時間）、演習2単位（1単位30時間）、特別研究10単位（1単位45時間）からなる。

博士前期課程がん看護専門看護師コースの授業科目は、特論2単位、演習2単位、実習2単位または6単位、専門看護師特別研究4単位からなる。

2. 授業科目名

区 分	授 業 科 目	博士前期課程	博士前期課程 がん看護専門 看護師コース	単位数
共通科目	医療倫理学特論	必 修	選 択	2
	看護倫理学特論	—	選 択 1)	2
	看護管理学特論	選 択	” 1)	2
	看護学研究方法特論	”	” 1)	2
	看護理論	”	” 1)	2
	医療情報処理学特論	”	選 択	2
	保健医療学特論	”	”	2
	保健学研究方法特論	”	”	2
	ストレス医療学特論	”	”	2
	腫瘍医療学特論	”	”	2
	看護コンサルテーション特論	”	選 択 1)	2
	フィジカルアセスメント特論	”	必 修 2)	2
	病態生理学特論	”	” 2)	2
	臨床薬理学特論	”	” 2)	2
	看護教育学特論 (がん看護専門看護師コース)	—	選 択 1)	2
専門教育科目 (専攻分野科目)	看護教育学特論 (博士前期課程コース)	選 択	—	2
	看護教育学演習	”	選 択	2
	リハビリテーション学特論	”	”	2
	リハビリテーション学演習	”	”	2
	成人看護学特論	”	”	2
	成人看護学演習	”	”	2
	高齢者看護学特論	”	”	2
	高齢者看護学演習	”	”	2
	成育看護学特論 I (母性)	”	”	2
	成育看護学演習 I (母性)	”	”	2
	成育看護学特論 II (小児)	”	”	2
	成育看護学演習 II (小児)	”	”	2
	地域看護学特論	”	”	2
	地域看護学演習	”	”	2
	精神保健学特論	”	”	2

専門教育科目 (専攻分野科目)	精神保健学演習	〃	〃	2
	神経病態・遺伝子疾患学特論	〃	〃	2
	神経病態・遺伝子疾患学演習	〃	〃	2
	病態細胞学特論	〃	〃	2
	病態細胞学演習	〃	〃	2
	病態制御学特論	〃	〃	2
	病態制御学演習	〃	〃	2
	生体機能・情報解析学特論	〃	〃	2
	生体機能・情報解析学演習	〃	〃	2
	環境科学特論	〃	〃	2
	環境科学演習	〃	〃	2
	認知症予防学特論	〃	〃	2
	認知症予防学演習	〃	〃	2
	がん看護に関する病態生理学		必修 3)	2
	がん看護に関する理論		〃 3)	2
	がん治療支援に関わる看護援助論		〃 3)	2
	緩和ケア特論Ⅰ		必修 4)	2
	緩和ケア特論Ⅱ		〃 4)	2
	緩和ケア演習Ⅰ		〃 4)	2
	緩和ケア演習Ⅱ		〃 4)	2
がん看護学実習Ⅰ		必修 5)	2	
がん看護学実習Ⅱ		〃 5)	2	
がん看護学実習Ⅲ		〃 5)	6	
特別研究	(看護学分野) 保健・看護学特別研究	選択必修		10
	(医用検査学分野) 医用検査学特別研究	選択必修		10
	(がん看護専門看護師コース) 専門看護師特別研究		必修 6)	4

IV. 専任指導教員

看護学分野

教授：萩野浩、深田美香、花木啓一、吉岡伸一、松浦治代、片岡英幸、中條雅美、
鈴木康江、南前恵子、山本美輪、佐々木くみ子

准教授：安藤泰至、笠城典子、谷村千華

講師：金田由紀子、池田智子、高間さとみ、雑賀倫子、奥田玲子

医用検査学分野

教授：二宮治明、網崎孝志、浦上克哉、廣岡保明、北村幸郷、鰐岡直人、山田貞子、
森 徹自

准教授：中川真由美、藤原伸一

講師：上田悦子、高村歩美、下廣 壽

V. 履修方法、修了要件及び学位授与

1. 履修方法

指導教員の指導により、または指定により、以下の科目を履修する。

○博士前期課程（専門メディカルスタッフ養成コース含む）

・共通科目：6単位以上（必修2単位を含む）

・専門教育科目：14単位以上（演習2単位以上を含む。指導教員が指定。6単位までは臨床心理学専攻の科目で充当することができる。）

・特別研究：10単位（修士論文テーマに沿った研究指導を受ける。指導教員が指定。）

合計：30単位以上

○博士前期課程がん看護専門看護師コース

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1) 共通科目A：8単位以上 | 2) 共通科目B：6単位以上 |
| 3) 専攻分野共通科目：6単位 | 4) 専攻分野専門科目：8単位 |
| 5) 実習科目：10単位 | 6) 専門看護師特別研究：4単位 |
| 合計：42単位以上 | |

1)～6)の履修で、専門看護師教育課程（がん看護専攻教育課程）の修了要件をみます。授業科目表中の注釈番号1)～6)は、上記の1)～6)に対応する。

2. 修了要件

- (1) 博士前期課程では、2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び試験に合格することとする。ただし、この規定にかかわらず、在学期間に関しては、優れた業績をあげた者であると大学院委員会が認めた場合には、1年以上在学すれば足りるものとする。
- (2) レフェリー制のある学術雑誌等への掲載論文、学会発表及びこれに準ずる業績などがあり、その水準が修士論文の水準を超えると大学院委員会において判断された場合は、その結果をもって修士論文の審査に代えることができる。
- (3) がん看護専門看護師コースの場合、2年以上在学し、42単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文審査及び試験に合格すること。

3. 学位授与

本課程を修了した者には、「修士（保健学）」の学位を授与する。

VI. 専門メディカルスタッフ養成コースについて

1. 目的

超音波検査士、細胞検査士、認知症予防専門士、認定認知症領域検査技師の資格については、当大学院で履修をしなくても認定試験の受験は可能であるが、通常の勤務をしながら合格するのは困難なことが多い。当大学院では、資格と関連する演習等により理解を深めさせ、資格取得を支援することを目的として本コースを設置した。

2. 内容

* 超音波検査士コース

医用検査学分野専門科目以外に超音波基礎の講義、超音波検査の演習を行う。日本超音波医学会あるいは日本超音波検査学会に入会後3年以上（博士前期課程修了後1年以上）で超音波検査士資格認定試験が受験可能となる。

* 細胞検査士コース

医用検査学分野専門科目以外に細胞診基礎の講義、細胞診検査の演習を行う。1年以上の細胞診の実務経験をもって細胞検査士資格認定試験が受験可能となる。

* 認知症予防専門士コース

医用検査学分野専門科目以外に、認知症予防の正しい知識と実践法を学ぶことを目的として、代表的な認知症をきたす疾患それぞれに対応した予防対策と実践法について、学び、体験する。認知症予防関連施設等（医療機関、介護施設、地域包括支援センター、企業、NPO法人、その他）で通算3年以上の実務経験を有し、日本認知症予防学会に入会後、同学会が認定するセミナー受講により30単位を取得することで、認知症予防専門士認定試験が受験可能となる。

* 認定認知症領域検査技師コース

医用検査学分野専門科目以外に認知症の正しい知識と認知症診断および治療評価に必要な検査方法の習得を目的として、認知機能評価に関わる神経心理検査や臨床検査等についての演習を行う。認知症予防関連施設等（医療機関、介護施設、地域包括支援センター、企業、NPO法人、その他）で通算3年以上の実務経験（臨床経験）を有し、日本認知

症予防学会に入会後、同学会が認定するセミナー受講により30単位を取得することで、認定認知症領域検査技師試験が受験可能となる。

Ⅶ. がん看護専門看護師コースについて

1. 目的

日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の中の、がん看護専門看護師の資格認定に必要な教育課程を開講することで、履修生にがん看護専門看護師資格認定試験の受験資格を付与することを目的として本コースを設置した。

2. 内容

専門看護師教育課程（がん看護）の38単位申請用の審査基準に基づいて、共通科目及び専攻分野科目を開講する。共通科目A、Bに加え、専攻分野共通科目、専攻分野専門科目、がん看護学実習、専門看護師特別研究からなる。専攻分野専門科目は、緩和ケア特論及び演習を中心に授業を行う。

※ がん看護専門看護師コースを希望される方は、看護実務経験が通算5年以上あり、そのうち3年以上はがん看護を専門とする分野の実務経験であることが必要とされる。出願にあたり、事前に看護学分野の中條雅美教授に連絡を取る必要がある。

Ⅷ. 社会人受入のための昼夜開講制

1. 目的

通常の方法では、社会人の多くは学業に専念することが困難であるので、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を導入し、夜間開講を含む昼夜開講を実施する。これにより、明確な目的意識と使命感を有する留学生や社会人を、積極的に受け入れる。

2. 社会人学生履修指導及び研究指導の方法等

- (1) 授業は夜間（18：30～21：40）に開講する。また、土曜日、日曜日、夏季・冬季休業期間にも開講し、単位修得のための便宜を図る。なお、通常の時間帯にある授業も履修可能とする。
- (2) 研究指導及び論文の作成にあたっては、夜間、土曜日、日曜日あるいはコンピュータネットワーク等のマルチメディアを利用して指導する。
- (3) 研究課題についても、職場における業務を活用したテーマ、あるいは職場から生じた問題点などに関連したテーマ、職場との共同研究体制が生かされるテーマ等を選択する工夫を行う。
- (4) 特例の適用を受けた学生の必要単位数は、授業科目、履修方法、履修指導、研究指導方法、修了要件、学位等も、特例の適用を受けない一般学生と同様である。

Ⅸ. 長期履修制度について

長期履修制度は、職業を有している等の事情により、通常の標準修業年限（2年間）では修了が困難である者に対し、標準修業年限を超えて一定の期間（最長4年間）にわたり計画的な履修を認める制度です。

また、授業料については、標準修業年限の2年間で支払うべき総額を、長期履修を認められた期間で均等割して支払うことになります。

なお、1年次より長期履修制度の適用を希望する者は、指導予定教員の承認を得て、入学手続き時に申請することが必要です。詳細については、医学部学務課教育企画係までお問合せください。

X. 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除について

次のいずれかの条件に該当し、入学料又は授業料の納入が著しく困難と認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料又は授業料が免除（全額又は半額）される制度があります。

- (1) 経済的理由によって入学料又は授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
 - (2) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
 - (3) (2) に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
- 詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

XI. 入学料及び授業料の奨学融資制度について

入学料・授業料の免除又は徴収猶予を申請し、免除等の結果が出た後、本人の申請に基づき、本学が指定する金融機関から、入学料又は授業料の融資（ローン）を受けられる制度があります。

(申込対象者)

入学料・授業料の免除又は徴収猶予申請者のうち、免除等の基準を満たしている者

※別途、金融機関の融資審査があり、融資を受けられない場合があります。

※融資額の返済は、本学を卒業（修了）後、元金及び利息分を月賦払い等により返済することになります。なお、在学中の利息分は本学が支払うため、学生の負担はありません。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

XII. 奨学金制度について

独立行政法人日本学生支援機構等において、人物・学業とも優れ、かつ、健康であって、経済的理由により修学が著しく困難であると認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金を貸与し、修学を援助する制度があります。

詳細については、医学部学務課学生係（TEL (0859)38-7100）へお問い合わせください。

米子地区案内図



- ① J R 米子駅から徒歩約 15 分
- ② J R 米子駅からタクシー約 5 分
- ③ 米子鬼太郎空港からタクシー約 20 分



アレスコ棟



医学部附属病院



総合教育棟



総合研究棟



生命科学棟

平成30年度 鳥取大学大学院医学系研究科 博士前期課程

志 願 票

※必ず出願前に志望部門の教授等と連絡を取り、出願や入学後の研究活動等について相談してください。

専攻	* 保健学専攻		受験番号	*
出願方法	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 社会人 <input type="checkbox"/> 外国人留学生			
志望部門	看護学	<input type="checkbox"/> 保健・看護学	<input type="checkbox"/> がん看護専門看護師コース	
	医用検査学	<input type="checkbox"/> 医用検査学	(希望コース名を記入してください)	
ふりがな 氏名			昭和 年 月	
出願資格	大学		平成 (才	
	短期大学			
	高等専門学校			
国籍 (外国人のみ記入)		昭和 年 月 卒業	平成	
ふりがな 住所	TEL (携帯) () -			
連絡先 又は 勤務先	ふりがな 氏名 (又は勤務先)			続柄
	ふりがな 住所	TEL () -		

平成30年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士前期課程

写 真 票

専攻	* 保健学専攻
受験番号	*
氏名	
写真貼付欄 (上半身・無帽・正 面向きで、出願前 3か月以内に撮 影したものをの り付けしてくだ さい。) 縦4cm×横3cm	

平成30年度
鳥取大学大学院医学系研究科博士前期課程

受 験 票

専攻	* 保健学専攻
受験番号	*
氏名	
写真貼付欄 (上半身・無帽・正 面向きで、出願前 3か月以内に撮 影したものをの り付けしてくだ さい。) 縦4cm×横3cm	

**出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せ
いただき、添付されている指定用紙を使用
してください。**

- 備考
- (1) *欄を除きすべて記入してください。
 - (2) 出願方法、志望部門を選択し□に✓を付してください。
 - (3) 専門メディカルスタッフ養成コースを志望する者は、以下の希望コース名を記入してください。
(超音波検査士コース、細胞検査士コース、認知症予防専門士コース、認定認知症領域検査技師コース)
 - (4) がん看護専門看護師コースを志望する者は、「がん看護実務確認書」を提出してください。
 - (5) 裏面の履歴欄も記入してください。

見 本

切り離さないで提出してください
裏面も記入してください

(様式1)

受験番号	*
------	---

*欄は記入しないこと。

受 験 承 認 書

平成 年 月 日

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

所属機関名

所属長名

公
印

下記の者が、鳥取大学大学院医学系研究科保健学専攻博士前期課程を受験することを承認します。

なお、同人が貴研究科に入学する場合は、在職のまま就学することを承認します。

記

所属部署

職 名

氏 名

※所属長（学長、学部長、病院長、代表取締役 等）の公印によるものを提出してください。

※入学後、職場が変更する者については、「なお、」以下を二重線で消してください。

宛 名 票

- ◎ 志願者は本票を学生募集要項記載の出願書類と一緒に必ず提出してください。
- ◎ 楷書で丁寧に記入してください。

入試に関する確実な連絡先を記入してください。

場所がアパート、団地等の場合は「様方」の欄にアパート、団地名等を記入してください。
※印欄（受験番号欄）以外はすべて記入してください。

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。	受験番号 ※
□□□-□□□□	
	様方
	様

下欄に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。	受験番号 ※
□□□-□□□□	
	様方
	様

見 本

出願の際は、必ず募集要項をお取り寄せいただき、添付されている指定用紙を使用してください。

※はがしたり、切ったりしないでそのまま提出してください

平成30年度鳥取大学大学院医学系研究科 保健学専攻博士前期課程入学試験出願資格認定申請書

鳥取大学大学院医学系研究科長 殿

申請者
氏名 印

生年月日 昭和・平成 年 月 日

住所 〒 -

電話番号 () -

志望する分野 (看護学・医用検査学)

別紙の書類を添付のうえ、標記出願資格の認定を申請します。

記

認定を希望する区分・出願資格	<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 出願資格3	<input type="checkbox"/> 出願資格9
	<input type="checkbox"/> 社会人	<input type="checkbox"/> 出願資格4	<input type="checkbox"/> 出願資格10
		<input type="checkbox"/> 出願資格6	<input type="checkbox"/> 出願資格11
		<input type="checkbox"/> 出願資格8	

- ※ 志望する分野に○印を記載してください。
- ※ 認定を希望する区分・出願資格の□にチェックを付けてください。
- ※ 出願資格10により出願を希望する者は、資格確認書を記載して出願資格認定申請書とともに提出してください。

(様式B)

履 歴 書

(出願資格認定申請用)

鳥取大学大学院医学系研究科

氏名		生年月日	昭和・平成 年 月 日生	性別	男・女
専攻	保健学専攻	〒 現住所	TEL - -		
分野	看護学 医用検査学				
学 歴 ※高等学校（同等の教育機関を含む）卒業以上について記入してください。					
年 月	高等学校卒業				
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
職 歴					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
年 月～年 月					
資 格 ・ 免 許 等					
年 月					
年 月					

※欄が不足する場合は、別紙を添付してください。

